

— 特 許 記 事 —

最近の製鉄鋼業界における発明

特許出願公告 (昭和 29—12—7)

- 公告番号 発 明 の 名 称 (発明者) 出願人
- 昭 29—8001 鋸融炉殊に高炉用液冷衝風羽口 (ブルノアウリン外1名) エルンストトーマス(独)
中空体羽口の外套内に設けた螺旋状管に冷却用水を通すもの。
- 昭 29—8010 窒素含有薄鋼板製造法 (安藤卓雄外1名) 東洋鋼板 K. K.
薄鋼板の表面に尿素又は尿素を 700°C 以下で加熱しその組成を変ぜしめたものを塗布又は撒布した後所定の焼鈍温度に加熱して該鋼板に窒素を滲透せめる方法。

特許出願公告 (昭和 29—12—15)

- 昭 29—8251 鉄及び鋼精錬用特殊吹精管 (児玉惟孝外1名) 金森九郎, 八幡製鉄 K. K.
パイプの先端に於いて炭素管或いは炭化珪素を表面に塗布した炭素管を外側にしてこれに炭化珪素管を内装したもの。

特許出願公告 (昭和 29—12—21)

- 昭 29—8402 低アルミニウム珪素鉄の製造法 (新沢兵栄) K. K. 鉄興社
珪素鉄に珪石とアルミニウムの酸化を営む金属酸化物とを加えて強酸性に於いて鋸融精錬を行う工程と、これに石灰石を加えて強塩基性に於いて脱滓操業をなし生成したスラッグを除去する工程との結合した方法。

- 昭 29—8434 黒鉛質ストツパーヘッド及びスリーブ煉瓦の製造法
(竹内喜四郎外1名) 八幡製鉄 K. K.
生粘土 20~30%, シャモット 30~50%, 鱗状黒鉛 5~30% を配合したものに珪石粉あるいはシリカフラウズ 5~20%, カーボランダム 1~10%, 絹雲母 1~10% を製品の目的に応じて適宜に配合し、熟成、混練、成形、乾燥後、還元性雰囲気中で 1000~1200°C に焼成する方法。

特許出願公告 (昭和 29—12—28)

- 昭 26—8652 金属の電気製錬法 (林 秀観) 同 人
電解液の表面一面に合成樹脂製の鏝を設けた中空体の浮子を浮遊させて電解する方法。
- 昭 29—8653 非コークス用炭と粉鉄石より銑鉄を製造する方法 (馬場有政外2名) 工業技術院長
膨潤炭を結合剤として弱及び非粘結炭の非コークス用炭と粉鉄石とを混合したものを成形し、直接これを鑿形炉に装入して銑鉄を製造する方法。
- 昭 29—8654 鎖 用 鋼 (金沢和男) 同 人
炭素 0.12~0.14%, マンガン 0.90~1.20%, 珪素 0.10~0.20%, 磷 <0.35%, 硫黄 0.35% 以下, 残部鉄からなるもの。
- 昭 29—8683 石炭の高温乾溜中にコークスの硫黄分を低下せしめる冶金用
コークスの製造法 (城 博外1名) 八幡製鉄 K. K.
弗化ナトリウム, 塩化錫, 塩化アルミニウム, 弗化アンモニウム, 沃化アンモニウム, 臭化アンモニウムの少くとも1種を原料炭に配合して乾溜する方法。